



札幌市北消防署からの お知らせ



高齢者施設等の火災に注意！

【概要】

札幌市における高齢者施設等の火災発生状況（平成12年から令和5年7月末現在）は、下図のとおりで、特別養護老人ホームが9件、認知症対応型共同生活介護施設が6件、その他の高齢者施設等が30件と合計で45件発生しています（概数）。

火災による死者は7人、負傷者は11人となっています（平成22年グループホーム火災で死者7人、負傷者2人）。火災の出火原因別では、電気関係が35.6%、放火が20.0%、たばこが13.3%、こんろ8.9%（IHこんろ4.4%）となっています。

また、北区内の火災件数は7件ですが、令和4年と令和5年に連続して発生しています。

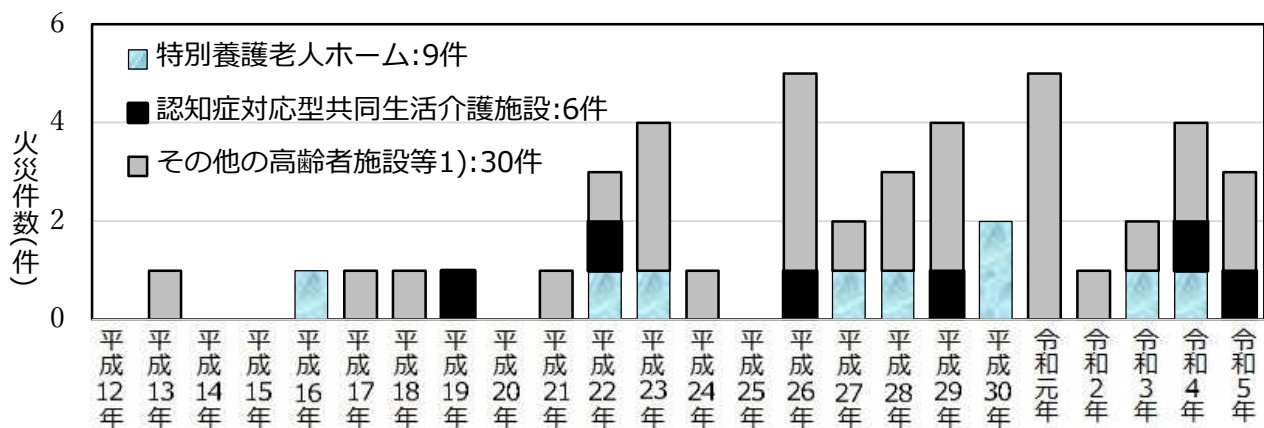


図1 高齢者施設等の火災発生状況

※ 1) 「その他の高齢者施設等」とは、有料老人ホーム、高齢者向け有料賃貸住宅、サービス付き高齢者向け住宅、介護老人保健施設等の高齢者の介護を実施している建物を示す。

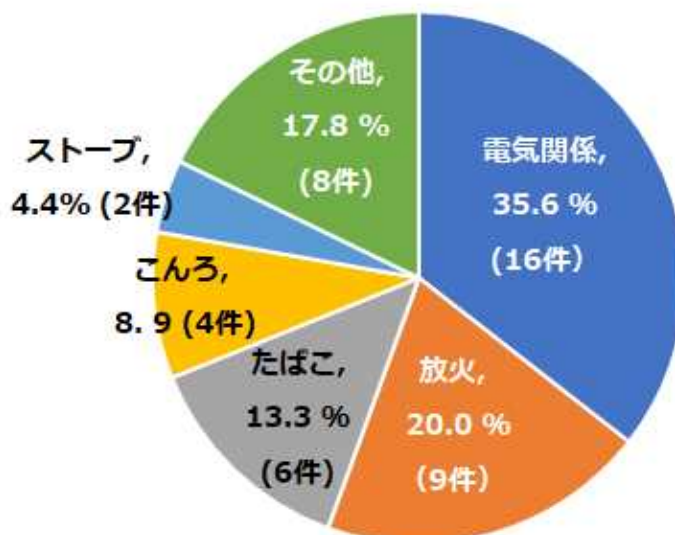


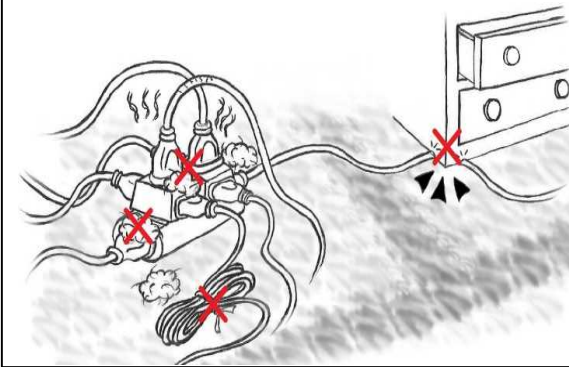
図2 出火原因別火災発生状況



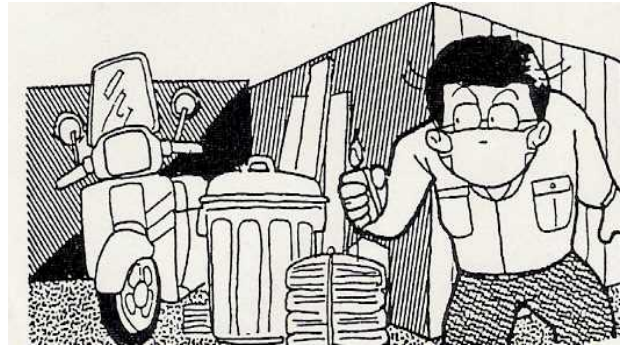
さっぽろ市
02-N06-23-1705
R5-2-1128

SAPPORO

電気火災に注意！



放火火災に注意！



高齢者施設等の火災事例

事例1 「こんろ」

職員が廃油のサラダ油を処分するため油処理剤を入れたが固まらなかったため、こんろで片手鍋を加熱したがその場を離れたため、片手鍋内のサラダ油が過熱発火し火災化したものである。

事例2 「電気関係」

入居者が使用していた電気毛布の電源コードが半断線により抵抗値が高まり発熱後短絡したため、周囲の寝具等に着火し火災化したものである。

事例3 「電気関係」

職員が古い扇風機を長時間使用して洗濯物を乾かしていたため、経年劣化によるモータコイルの層間短絡により火災化したものである。

事例4 「放火の疑い」

居住者が居室内西側に置かれたベッド上の布団に簡易ガスライターを用いて火を放ったため、火災化したものである。

事例5 「こんろ」

職員がグリル内で魚を焼いていたが、内部に油かすが溜まっていたため、油かすに引火して火災化したものである。

寝る前にも
水分補給を！



救急車は地域を守る
セーフティーネット



【お問合せ先】
北消防署予防課防火推進係
電話：011-737-2100



煙やにおい等の異状を感じたらすぐに119番へ！！

